

令和6年度 第10回

日南市教育委員会

会議録

令和6年12月19日(木) 午後2時55分から
日南市役所・別館2階会議室5

- 1 会議の名称 令和6年度教育委員会 第10回会議（定例）
- 2 会議日時 令和6年12月19日（木）
午後2時55分から午後3時45分まで
- 3 出欠確認
（1）出席委員 都甲政文 黒木由香 別府信一、八木真紀子、佐藤泰信
（2）事務局 教育部長兼学校教育課長
学校教育課学校教育担当監
生涯学習課課長
学校教育課課長補佐兼管理係長
学校教育課管理係主任主事
- 4 場所 日南市役所・別館2階会議室5
- 5 傍聴者 1名
- 6 開会

【都甲教育長】

「それでは、令和6年度第10回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」

- 7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】

「出席者の確認をいたします。教育委員5名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【鬼束部長】

「事務局は、全員出席です。」

【都甲教育長】

「本日傍聴の方は1名ですね。よろしくお願いします。」

8 活動報告

(1) 教育長活動報告

【都甲教育長】

- ・11月22日。鵜戸中学校にですね、税の作文表彰に行きました。3年生が2名いるんですけども、何と2名とも賞状をもらえましてですね。非常に優秀だったですね。これが1人しか貰わなかったらどうだったんだろうということですね。良かったです。
- ・23日は新嘗祭に行ったんですけども、鵜戸神宮の。鵜戸小の子供たちがですね、神楽の奉納をしました。一生懸命やってました。
- ・それからその日の午後、「地域の歴史を学ぼう講演会」。今回外務省からですね、ポーツマス条約を結んだ生のね、締結書とか来て、それに合わせて外務省の室長さんが来られたんですけども、非常に面白い話をしてもらえて、陸奥宗光さんと小村寿太郎さんという立派な外務省、外務大臣いるんですけど、もっとも宗光さんが先輩なので、なかなか小村寿太郎さんの胸像は外務省でできないらしいんです、陸奥宗光の胸像はあるけど。やっぱり出たわけですよ、小村寿太郎の胸像は作らんのかって。ちょっとって話でしたね。
- ・26日、小村寿太郎の墓前祭に行きました。雨の中だったんですけども、黒木委員にも来ていただきまして、厳粛にやることができました。
- ・そして26日、税の作文の表彰で吾田中学校。これ男子1名でした。表彰させてもらいました。
- ・それから飛びまして29日、ボディビル連盟市長表敬があつて私も同席したんですけども、お2人ボディビルとベンチプレスっていう種目なんですけども、もう何かこう非常にストイックにやるんですね。やっぱりあのこう見てて大変なんだろうなと思って、1人の方は消防署の署員の方なんです。もう1人は介護職員なんですけど、やっぱそういう仕事をしながらやってるってことでした。
- ・それから算数・数学エンタ。これ宮大の算数数学を勉強してる方が来られるんですけど、学生が。今回小中学生20名参加して、非常に楽しく算数の勉強をしておりました。
- ・それから12月1日は吾田小学校の「応援ありがとうコンサート」だったんですけども、自信ですかね、日本一になった。何か上手だったんですよ、前に比べたらまたなおさら。非常に。700人ぐらいハートフルにほほいっばい集まって、非常に盛況でした。
- ・それから市の校長会。定例校長会ですけども、その時吾田小学校の日本一の話をしたんですが、でもどの学校のどの子供もやっぱ頑張ってるという話をしました。やっぱり私思うのは、子供の頑張りと一緒に大人の関わりがあつて子供が成長していくんだっていうことだと思うんですよ。だからまさしく今回の吾田小は、その子供たちも努力したし、先生の指導があつて保護者の支援があつて、ああいう結果になったっていう話をさせていただきました。あとパワハラのことですね、やっぱり。いろいろ特に、学期末忙しくなってくるとやっぱり余裕がなくなってきたね、という場合もありますので、未然防止という意味で校長先生方にも一言、風通しの良い職場にしてくださいと、いつでも相談できる体制をとってくださいって話をしました。

- ・あとは12月3日はですね、家畜伝染病防疫対策本部会議。川南で発生したものですから、こういう会議を開いて次の一手を打つためにいろいろ情報交換をしました。
- ・12月8日、この日はまず朝からスポーツ少年団の駅伝ロードレース大会。今まで私で出てなかったんですよ。今年スポーツ部門が教育委員会に帰ってきたものですから参加させてもらったんですが、300名ほどの子供たちが集まってですね。駅伝、それからロードレースをやったようです。まあね、少年団に参加する子供たちが減ってる中ですけども、やっぱり早朝から集まって一生懸命日頃の練習の成果を発揮していました。
- ・同じ8日の日10時から、黒荷田小学校のですね。イチヨウの植樹会に行って参りました。イチヨウを1本、それから桜を8本植えたんですけども、最後のイチヨウを植える時に市長も行ってですね。地域の自治会長さんと一緒に土をこう被せて、やったわけですけども、新聞にも載りましたね。「希望のイチヨウ」と。希望のイチヨウ、あれは今回世話していただいた会長さんが挨拶の中で言ってくれたんですけども、それをそのまま新聞が使ってくれてよかったなと思っています。地域の方ですね、20名ほど来られて見届けていただきました。もうちょっとやることはあるんですけど、一区切りということで。ここにあります補佐もちょっと一区切りってことで。
- ・14日土曜日。先ほど市長も言いましたように、重点戦略プランのシンポジウムがありまして、市長がその中身の話をして、講演もあって、そして高校生の研究発表もあってですね、これも自治会長さんなんか見えて、今後の日南市のあり方について皆さんにお伝えしたところでした。
- ・そして16日は高千穂に行きましたね。朝早くから夕方までだったんですけど、また後でよろしくお願いします。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

12月12日にですね、オンラインにて市町村教育研究会に参加させていただきました。県の教育施策の説明の後、学力向上についてと特別支援教育についてと、不登校対策についての取り組みをそれぞれ聞かせていただきました。学力向上に関してはいろいろ聞いたところではあったんですけども、教え方そして教材ツールも大切なんですけども、自分もその学力が高かったかということと全然そうでもなくて、やっぱり何のためにその学校に行くのかとか、何のためにその勉強しないといけないのかっていうのがわからないのに、何か面倒くさいことをやらされているという感覚になってしまうので、その子供たちに勉強する意味だったりとか、こういう理由があってっていうのをちゃんと教えてあげるといふ、そういったことも必要なのかなと感じたところです。

あと特別支援教育に関しましては、インクルーシブ教育システムについて学ばせていただきました。障害のある子どもとない子どもが可能な限り同じ場で学ぶことが理想っ

ていうのと同時に、また一人一人の教育に最も最適な指導を提供するということで、そこら辺の柔軟な対応がこれから必要なんだなというところを勉強することができました。

あと最後に不登校対策についてですけども、いろんなデータを見させていただいて、年々増加傾向にある深刻な問題ではあるんですけども、そのような中でも社会的自立、これに向けて多くの取り組みを県でも行われているんだなと知ることができました。大変貴重な時間を過ごすことができました。

12月16日の高千穂の意見交換会については、また後程発表させていただきます。

【佐藤委員】

さっきの会でも話をしてちょっといろいろ感じてですね、各課本当一生懸命に施策説明があって。でもそれはどっちかっていうと、今までもずっとやっぱり取り組んできたことで、なかなか成果が出てるとこもあれば出てないところもある。だからそこはやっぱり横の横断的な取り組みをしないとですね。学力向上1つについても、授業も大事だけどベースになる子供たちがですよ。ものすごく変わってますから、本当。ちっちゃい頃からSNSに触れて、添加物いっぱいのお食事を食べて、幼稚園生でも朝からゴロゴロしてる子とかいるんですよ。もう親がおにぎりとか持たせて、朝起きないから食べさせてくださいって言う。ちょっと前までは家でちゃんと食べさせてくださいって言うんですけど、もうそれじゃ解決しないんで、もう今ちょっと預かって食べさせて。でないともう朝の活動どころじゃないんですわ。もうお腹すいて泣いてイライラして、そういう中で学力向上ってこれはもう至難のわざですよ。だから学校だけでは絶対無理で、他の特別支援についてもやっぱりそういうところがあってですよ。特性の強い子供たちにとって非常に行きづらいというか、そういう部分もあるので、学校の行事なんかもそういうところもまだあるかなと思うんですけどね。運動会とか。やっぱりみんなで同じことを求めて、大勢の前ですよ。そういう姿を見せなくちゃいけないというのは、親はやっぱりたまらなくつらいことですよ。だから、やっぱりいろんなその関係者も力を合わせて、やっぱりやっていかないと難しいなというのはちょっと思いました。

【八木委員】

県の教育委員のオンライン研修について報告します。全般的な取り組み、県の取り組みについてまとめてっていうかな、項目ごとに聞いたんですけど、その中でやっぱり印象的だったのは、県の特別支援の子供が10年間で3.1倍に増えている。不登校は3倍までなかったんですけど2.何倍かに増えていると。やる気がないとか、不調不安うつ。まだそういう理由とかっていうんですけど、そういうのに対して新プランとかですね。本当に細やかに行政の皆さんでいろんな取り組みをされてるんですけど、その中で

これを課題として感じてらっしゃるのが、やっぱり指導体制がまだ足りないと。専門性を持つ指導者が不足してるってところがあったので、そこら辺はこれからまた取り組んでいただけたらいいなって感じます。感想としてはやっぱり行政から見た視点のお話だったんですけど、私たちはいろんな学校視察とか先生のところとか行って、もう現場の先生たちの顔が見える、本当子供たちともう本当一生懸命向き合って1つ1つがパターンも違うし、その中で取り組まれてるのを見ているので、やっぱりそういう先生たちの、現場の先生たちの声がちゃんと上に届くっていうか、そこが一番大事なのかなと。なかなか行政立場ではね、語れないようなことがあるので、そこがしっかり届けられるシステムというのが必要なのかなと感じがしております。

【黒木委員】

私も11月26日、寿太郎侯の墓前祭に参加させていただいて、去年も前日から夜は雨で朝ものすごく寒くて。今年も雨の中で、ただとってもいつも空気が澄んで、なんかこう寿太郎侯がもし今この時代を見たらどう思うのかなあと思ったり、そんなこともいろいろ考えましたよね。そんな時間を過ごさせていただきました。

そんな中で12日のオンライン研究大会に参加させていただいて、やっぱり健康が本当に大元で、やっぱり心の健康、体の健康があってからの学力だったり、学びであったりっていうのが本当に基本だなって思いました。県の方が仰る中でも、もうこの時代なんかどんどんこう不登校とか言っても、もう行かないのか、行けないのか、そこも選択できるような不登校になっていたり、なので学校に行く意味とか行く意義っていうのがとても大切で、保護者にしても子供たちを本人にしても。私たちの時は学校に行くのが当たり前で、そんな何も考えずに学校に行って楽しくて学んでっていう時間だったけど、今学校に行かなくても学べる、行かない方が学べるっていう認識がある方達も多分いらっしゃる中で、やっぱりそこって人の心とか先生っていうその学校にしかない、子を教えてくれる人の存在っていうのがとっても大事なんじゃないかなっていうふうに研究大会を聞き、思ったところでした。あとは高千穂の研修に続けます。

【都甲教育長】

その12日のやつですよ。いろいろ担当がね、話をしたと思うんですけど、どうですか。熱は感じましたか、オンラインやったけど。

【佐藤委員】

担当の方たちが言う、喋ることだから、やっぱり既存のルールがあって、だから10年前とそんなに変わってないんじゃないかなって。そういうのはちょっと感じたんですよ。

【八木委員】

やっぱり現場の人の声が聞きたくなった、私はそういうふうを感じるんですよね。みんな先生たちすごい頑張ってる例をたくさん聞いているので、そこが大事なんだなと。だからそこがうまく回るための何か行政というか、そういう教育委員会の仕事なのかなと思います。

【都甲教育長】

一生懸命説明はしてくれるんですよ、我々にも。でも担当としてね、どれぐらい気持ちを持って変えてやろうとか、そういう頑張りとかというのが、中には伝わらない場合もあるので、せっかく彼らは事業を組んで予算を取ってやるわけなので、ちょっと腹くくってやってよっていう感じもあるんですけどね。

私達の場合は1月2月にそういう説明もあるんですけど、私は今お聞きしていて、私たちが言う意見とやっぱり皆さんは違うと思うんですよ。やっぱり皆さんは、いち保護者であったりとか、やっぱり学校を外側から見ていただいているので、それを考えるとやっぱりこういうのって一方通行じゃいかなって感じもしてくるんですよ。やっぱり説明だけじゃなくて、いろいろ意見を吸い上げて、ね。

県教委の教育委員さんたちがいろんなところを回って意見を聞くっていうのもあったんですけど、これもなかなか毎年はできなくて、去年か一昨年は日南に来たのかな、串間と一緒にやったんですよね。そういうことも必要ですよ。皆さんが何かこう、それぞれのところでふつふつと胸に感じながらね、思いながらってよりは、やっぱり出す機会、またそういうことも県の方に話をしたいなと思います。やっぱりもっともっと吸い上げてよっていう、それぞれの市町村に複数の教育委員さんがいらっちゃって、やっぱりいろんな形で一生懸命取り組んでももらっている、それが生かされるような場をね、と思いました。

9 前回の議事録承認

第9回の議事録について了承

10 報告「他市町村教育委員会との意見交換会についてのふりかえり」

【別府委員】

12月16日ですね、高千穂町教育委員会の皆さんと意見交換会を行わせていただきました。現在の食の問題とか、あと農業に関する衝撃的な話を初めて伺いまして、非常にこういうことになってこういったデータが出るんだっていうのを改めてですね、ちょっと聞かせていただいて、ちょっと正直ショックを受けたところではあったんですけども、

そんな中特別栽培米の給食について、もう貴重なお話を伺うことができました。またここに来るまでは多くの苦労があったお話を聞くと、本当に相当な覚悟で取り組まれたんだなと感じたところです。日南市としても急に一気にっていうのは無理かと思うんですけども、できるところから１歩ずつですね、理想に近づけていただけたら嬉しいなと感じたところでもあります。

今回はですね、佐藤さんにも同行していただいて、高千穂をよりいっそう知ることができたと同時に、また高千穂の皆さんにも日南市の魅力を伝えて、知っていただくことができたというのもよかったなと思います。面白かったです。毎年ですね、来年からもあると思いますが、日南市のPRもしっかり行って帰るという意味でも、次回からも佐藤さんに同行していただけると良いのかなと。日南市のPRをして帰ってくるっていうふうには必ずついていくっていうのも検討していただければと思いました。本当に貴重な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

【佐藤委員】

すごかったですよね。誰を祭っているかとかですよ。

【都甲教育長】

多分あれ僕 3 日ぐらい前に一緒に行こうって言ったからですよ。頑張ってくれたんですよ。僕は簡単に餌肥とか油津とかそういうところを紹介してよぐらいだったんですよ。だから本当にねえ、神楽とかの写真が来てびっくりしました。学芸員さんらしい素晴らしい仕事をしてくれましたね。

【佐藤委員】

子供たちの未来に何を残してあげるかっていうので、健康な体とそれから安心できる環境をつていう思いがですね、すごく変わらんと思って聞きました。そのあとですね、別府香織さんという方と話をしたんです。そしたらですね、お米については農薬というのは糠に凝縮されるそうで、だから精米するとですね、あんまり食べることに关しては農薬は入ってこないっていう。だから玄米で食べるとそれはいかんけど、実は精米されると結構農薬が取り除かれるんですよ。だからちょっと戸敷教育長には悪いんですけど、そこにエネルギーを注ぐよりはやっぱり別のことを、例えばだから添加物の云々とかですね。そっちの方がやりやすいんじゃないですかっていうアドバイスをいただいて、またうちの幼稚園の今度 2 月の参観日に保護者向けにご講話をいただこうと思ってるとこなんですけど。だからいろいろとまた工夫するとですね、何とかこう取っ掛かりがあるんじゃないかなとは思いました。目指すものはやっぱり絶対そっちなんです。

【都甲教育長】

そうですか、米はそうなんですね。

【佐藤委員】

もちろん土壌とかには良い。農薬使わないから。いろんな蛙とかですとか、トキもね、佐渡ではやっぱそういう取り組みをしてて、熊本では赤とんぼがたくさんいる田んぼをっていうことで農薬を使わないということで、地域おこしにも使われてましたけど、食べる分にはそうだそうです。

【八木委員】

戸敷教育長の生活リズムの話、睡眠とか食の話は本当に大事なことだと思います。

知徳体の体のことをまず考えるというのは、もう今の時代本当に重要なことじゃないかなあと感じました。全国オーガニック協議会のこの資料とかもたくさんいただいたんですけど、とても新しいですね。去年の6月にできてるんですね。なんかはじめは武蔵野市東京の方から始まったらしいんですけど、なんか無農薬の野菜を作っている人が給食で使いませんか。保護者の人が推進してそこから始まって、でも給食室はね土のついたものは駄目だっていうので、みんなで外で洗って運んでっていうふうに始まったっていうのを見たんですけど、調味料についても何かやっぱりそういう取り扱いをしてるところを見つけてるのは、これからなんか始まったばかりのものなので、ひょっとしたら給食のこういう協議会がそういう調味料を扱うとか、そういう時代が来るのかなと、それを期待したいなと思ってます。宮崎市は吉野保育園がずっとやってますね。あそこはもうそういう無添加のものを。視察に行ったことあるんですけどすごい、本当に高いですね。やっぱり無農薬のものはすごく高いんですけど、これから日南市で何ができるかなあと考える時に、1年間ってのは無理でも、例えば有機農業の日っていうのがあって12月8日だけそういうお米を使うとか、1週間だけやるとかいろんな取り組みが全国であって、それだったらできるんじゃないですか。まず一歩です。本当は環境が良くなるとか、さっき話したようにみどりの食料システム戦略でもCO2を減らすためにつて、農林省は有機農業を増やしたいっていう、そういうのも出してるんですね。だからそこと結びついて、本当は話をするなら農政課ですかね。何だかそういうことにも繋がって、そういう給食をすることのメリットがですね。食の安全性、自然環境の保護、農家の安全、美味しさとそういうことになるんですね。デメリットがコストがかかる、流通量が少ない、長期保存ができない。ということは期限が短いので新鮮なものが食べられるんですけど、でも環境を守るとかそういうことも大事なので、そこで繋がればね、なんか食の話、給食の話っていうのも、いろんなとこに広がって、また日南が豊かになるではないかなと思います。どんなですかね。1年に1日とか1週間とか、何回とかだったらできませんかね。そこで保護者に向けて、こういうねオーガニックな農業のものを食べさせると良いっていう教育にやっぱりなるし、はい。

【都甲教育長】

教育はオールにはできんからですよ。

やっぱり仰るようにきっかけづくりとかだと思うんですよね、それがまず大事な。それを子供たち、保護者が気づいて、それを自分で例えばパッとパッケージ裏を見て、何が入ってるとか、これがどうか、そういうところからだと思うんですよね。それが積み重なっていったら、子供たちは自分の体を作っていくのかなあと思うんですよ。きっかけづくりは多分できるんじゃないですかね。

今はたと思いました。今度栄養教諭の先生を呼んでいろいろ話をしたいですね。専門家、彼女たちなりの苦勞をしてると思うからですよ。

【都甲教育長】

調理場ってやっぱり絶対食中毒とか出しちゃいけない。やっぱり保存料がないというのは、ある意味怖いことでもあるんですよね。傷みが早いんで途中の保存状態が悪ければですよ、もう傷んでることもありえるので、そういうリスクもあるんですよね。

【都甲教育長】

だから本当ね、栄養教諭の方々たちなりの悩みもやっぱりあると思うので、そういう実態を知るのもね、大事かもしれないですね。うちはやっぱりその給食も公的なものになってますので、全責任がもうやっぱり今回かぶさってきたので、そういう意味ではね。でも本当ね、少しでもいいものをね。

【黒木委員】

私も高千穂の方に連れて行っていただいてありがとうございました。

その変わらぬ熱量が。中学校の時の先生だったので、本当に人生を変えると挨拶言った通りに。もう本当さっきのこのオンラインでの研修会、研究発表大会の続きにもなるんですけどものすごい、こう、いち中学生のやりたいとか気づきをまず。30 年前に地球温暖化にスポットを当てられてたんですよ。森林を守ろう、で牛乳パックのリサイクルをやらうっていう活動を生徒会で始めるっていうところがスタートで、私がその担当だったので、気づきを与えてくれるけど調べるのは自分なんですよ。

大分の製紙会社があって、あの時代って今みたいにネットで調べるとかないから、文字で情報を追って自分で電話して、そこの方がぜひ来てくださって言ってくださって、生徒会を連れて行ってくださったんですよ、戸敷先生が大分に。そんなの知らないじゃないですか。細田中学校の生徒、中学生を連れて市のバス借りたのかな。そんなのも全然わかんないんですよ。でも、大分まで連れて行ってくれたんですよ。大分市役所の、ちゃんとそこにも訪問させてもらって、何ていうんだろうその自分のやったことにものすごい意味があるっていう気づき。やればできるって教えを持たせてくれた先生で。それがやっ

ぱり他のことにも繋がるんですよ、なんか仕事にしても育児にしても、人間関係にしても、全部そこがあって。だから私はその本当に恩人というか、私を作ってくれた人だっという意識があるんですけど、変わらない熱量だなと思いながら。すごく有機の方にスポットを当てられて、睡眠のお話がちょっと聞けなかったのが残念なんですけど。本当に睡眠、今メディアの時代になって、本当に大事なところがコントロールされてしまうから、もう自分が見てるものが本当か嘘かも多分わからなくなってしまうんじゃないかなと思うんですよ、子供たちが。本当のことを自分で知るとか、そういう大事なことをわかってないと、何かこれから先怖い世の中になるなあと思いながら、そこがやっぱり給食っていうところにも繋がって、ただやっぱり戸敷教育長のお話を伺うと、正しいことは正しいんだけど、それをこちらから発信すると違う形で帰ってきて、思わぬ方向に進んでこういく。だから発言とか、その提案っていうことにはすごく慎重にならないといけないんだっということ、今回ちょっとはっと気づいたところで、確かに農家さんの観点、私が一回すごいおいしいきんかんを作る農家さんにお手伝いに行った時に、その農薬悪だみたいと言われるのがすごい嫌みたいなのを、一生懸命やってるって、自分たちは自分たちの作ってるものに誇りもあるって言ったのを思い出して、多分農薬にもきつといろいろあるんですよ。でも私達って農薬って悪ってひとくくりにしてしまってるから、そういうところもちゃんとわかった上でちゃんと言わないといけない。その有機っていうものに対しても、ちゃんとそこを理解して、ちゃんとわかってから言わないと傷つけてしまうなと思って、もう少しその辺を勉強しようと思いました。

【都甲教育長】

30年前にもうSDGsだったんですね。

【黒木委員】

30年後、きっとこの問題がもう社会的にすごい問題になってるんだらうなって思っていたみたいです。

【都甲教育長】

なんか戸敷教育長の人生を知りたいですね。あんまりいいですよ、教員になられたばかりの時に。まさしくライフワークなんですね。

【佐藤委員】

単純に野外活動が好きだから。キャンプがしたかったんでしょうね。

【都甲教育長】

要はそういうキャンプが好きで、自然とかそういうの中においてってことでしょうね。それやったからすぐ人生を変えた先生ってことですね。

【黒木委員】

やっぱりさっきの市長とのでもなんですけど、大人が子供がそのやろうとしてることを。もう多分大変だと思うんですよね、親や教育委員会にもこういう理由でって。県内に子供を修学旅行でも何でも無い時に連れて行って、責任は先生じゃないですか引率者。どんなふうに説得したんだろうと思って。

【都甲教育長】

市のバスを使うにしても市のバスで県外に行けると。

【鬼束部長】

駄目だと思うんですよ。

【藤岡担当監】

行けないです。

【都甲教育長】

今では行けないとすると、そういう意味じゃ大らかな感じだったかもしれないですね。

【黒木委員】

しかも高速を使って、一泊二日で日帰りじゃないんですよ。だからそういうお金どこから出たんだろうって。今この立場にあると、そういうものすごい気を配らないといけないものがたくさんあったらうにと。

【都甲教育長】

もしかしたら環境教育みたいな形で研究指定とか、昔は研究指定とか結構あったからですよ。予算でね、行ったかもしれませぬ。6人ぐらい行ったんでしょ。

【黒木委員】

そうですね。先生もいたので、1泊2日で大分旅行でした。そういう何かこう変えられるんだっていう動き。なんだろう、なんか世の中が動いたわけではないんだけど、先に進めたことがすごく大きかったですよね。その認めてもらえてるっていう、何か嬉しさと。だからそのやることに関してはもう中途半端じゃなくなるから、運動会の表彰状も全部牛乳パックをこしてリサイクル。紙をすいて。そこで手書きの表彰状を作って、それを各団に渡すとか、はがきを作るとかしおりを作るとかそこで地域の方との交流もあったり、うん。なんかよかったんでその横の広がり。

【都甲教育長】

なんかすごいその中身の濃い、環境教育を受けたんですね。

【黒木委員】

今の時代じゃない、調べようがない情報をどうやって私も調べたんだろうと思って。多分手あたり次第電話したり聞いてるんですよね。本を読んだり本の裏に書いてある電話番号にかけてみたりとかしてるんですよ、きっと。やればできるっていうね。今調べればいくらでもあるから、もっとね今の子どもたちは、子供議会のその先ほどの話繋がるんですけど、何かができる、きっと子供たちが大きく成長すると、思っています。

【都甲教育長】

私は子供たちが公立じゃないですか。山の学校と海の学校がまさしくそれで、海の学校の子たちが山の学校にという感じですねこの前は。高千穂町の雰囲気をやっぱり味わって、寒さとかも実感して、こういう中で話を聞いて、そして教育長、あれほっといたらもう丸1日あんな話をしてるでしょうね。翌日にすぐに向こうから電話かかってきて、ありがとうございますと。やっぱりこうずっとやってきたけどなかなか前に進まんとよなあって言って、でもやっぱりすごいじゃないですか。やっぱりずっとやってきたことをね、やり続けているのは、うん。やっぱり頑張らんといかんわって。ああいう情熱は見習わんといかんなと思ってですよ。引き受けた約束がこれをするからって町長に言っちゃったからですね、町長も文句言えんですよね。一生懸命考えてやっているのを知って、私も良い勉強になりましたし、なんか最後の記念撮影なんかも皆さんこう出てきてもらってですよ。やっぱ今まで行ったえびのとか都城とかとまた違ったものが味わえて、出かける教育委員会はいいなあと思ってるんですよ。もうこれ本当に言ったように高千穂に行っちゃったので、怖いものなしでどこでも行けるという。また来年は良いところにね、行けると良いですね。

先ほど僕も言いましたけども、市町村へ出かけるっていうことに関してはやっぱり今後続けていくっていうことでいいですかね。うちのバスで行けるところで。申し訳ないですけど、この遠征は旅費がなかなかないので、ほんとだったら高千穂あたりだったらですね、行ってゆっくりいろんなところ回って研修っていう名目で見せてもらってね、夜また今度は教育委員さんと意見交換とかもできればいいんですけど、なかなかそれもできないので、そういう形でやれる範囲で今後もやっていきたいと思いますけど、またよろしくお願いします。

1 1 その他

(1) 1月行事予定について

(2) 令和6年度市町村教育委員会研究協議会 後期研修

- ① 日時 令和7年1月16日(木) 午後1時から
- ② 場所 オンライン

(3) 第11回 教育委員会会議(定例)

- ① 日時 令和7年1月23日(木) 午後3時から
- ② 場所 日南市役所別館2階会議室5

(4) 第12回 教育委員会会議(臨時)

- ① 日時 令和7年1月23日(木) 定例教育委員会終了後
- ② 場所 日南市役所別館2階会議室5

(5) 日南市教育委員会表彰式

- ① 日時 令和7年2月25日(火) 午後1時から(調整中)
- ② 場所 日南市役所 付属棟

12 閉会